

## ■tingting（本名：宗婷婷／ゾン ティンティン）プロフィール

中国、西安出身。両親共に音楽家であり幼少期から英才教育を受け6歳から琵琶を始める。国立西安芸術学校を中国琵琶専攻・首席で卒業。1997年、留学生として来日。

1999年、アサヒビール全日本留学生音楽賞・民族楽器の部受賞。

2001年、第10回在日留学生音楽コンクールでの優勝をきっかけに全国デビュー。

アメリカ・シアトルで行われた「国際児童祭」や日中国交正常化30周年記念ディナーショー(共演：アグネス・チャン)、「東大寺大仏開眼 1250年慶讃コンサート／東儀秀樹・大伽藍コンサート」、加藤登紀子との愛知万博での新曲発表(テレビ朝日系列「森と水の旅」にて全国放送)。

2007年、ドキュメンタリー『雅楽の源流と出会う西南シルクロード—正倉院の響きは遥か雲南の谷に』出演。ジュディ・オングとのコンサート等、世界各地で様々なアーティストと共演。

### プログラム

#### 西安への道

2003年、ファーストアルバム「蓬萊の調べ」をリリース後、「ユーラシアの花」、「家園」、「花吹雪」、「春は花」、「中国琵琶の調べ—愛しの歌」、DVD「沖縄 郵便船で行く離島」、DVD「tingting concert tour 2004 7・7 tokyo」、をリリース、DVD『正倉院～時を超えた世界の宝』第五巻「正倉院の楽器」に出演兼資料提供。

2007年より、中部大学・国際関係学部国際文化学科で教鞭を執りながら日本文化や日中古楽器の研究、そして演奏活動に取り組んでいる。テレビ出演やCM出演などのほか自身がパーソナリティを務めるラジオ番組も数多い。

2016年、オハイオ大学芸術学部(アメリカ)へ交換客員教授として派遣されるなど、幅広い活動を通じてアジアの音楽と文化の発信に努めている。活動範囲は自身による演奏のみならず、中国の歴史的なエリアを巡るツアー主宰のほか、本格的なクラシック音楽専用設計の宗次ホール(名古屋市)で定期的にプロデュース公演を委託されている。中部大学准教授。